知床国立公園適正利用･エコツーリズム検討会議
「ウトロ海域部会」

平成24年度　第一回部会

平成24年6月14日
知床世界遺産センター　レクチャールーム

環境省

1

○ 開 会 ・ 挨 拶

○ 参加者のご紹介

2

議事次第

- 1.ウトロ海域部会について
- 　～経緯および年次計画における今年度の位置付け
- 2.本年度事業実施計画
- 　1)　ウトロ海域海鳥調査計画
- 　2)　利用者動向調査（アンケート調査）
- 　3)　海域状況（海鳥）観察の実施
- 　4)　広報用コンテンツの作成
- 　5)　その他
- 3.その他
- 　意見交換

3

1.ウトロ海域部会について

- ～経緯および年次計画における今年度の位置付け

4

本部会の目的・進め方について

・ 世界遺産地域の海域の価値を高める

・ エコツーリズム戦略の策定を視野に入れたモデルケース
- ①多様な野生生物を含む原生的な自然環境を後世に引き継ぐ
- ②利用者により良い自然体験を提供
- ③地域経済の発展の促進

○ ウトロ海域を利用する人間と海鳥の双方にとって好ましい状態の創出
(Win-Winの関係)

○ ウトロ海域を利用する全ての関係者それぞれにとって好ましい状態の創出
(Win-Win-Win-・・・の関係)

5

本部会の位置づけ

適正利用・エコツーリズム検討会議

構成員：関係行政機関、関係民間団体、専門家
議題：知床世界自然遺産地域の利用に関する基本的な方針の検討（エコツーリズム戦略の策定など）

知床五湖についての会議

カムイワッカ湯の滝についての会議

マイカー規制についての会議

・エコツーリズム戦略に反映
・検討結果を報告

・必要に応じ助言
・全体方針との整合性の確保

適正利用・エコツーリズム検討会議
羅臼湖部会

知床国立公園ウトロ海域における海鳥の保護と持続可能な海域利用検討会改め
適正利用・エコツーリズム検討会議 ウトロ海域部会

構成員：ウトロ海域に関係する団体/機関等
議題：ウトロ海域の利用に関すること

6

本部会の進め方

自然遺産地域の自然環境･価値を維持しながら、海域の利用をより好ましい状態にするにはどうしたらよいかを検討する。

「規制」を念頭においたものではなく、新たな規制を作らずに遺産価値の維持と海域の利用がうまく回っていく仕組み作りを目指していきたい。

そのために、関係者みんなで実態調査や利用のあり方を考えながら進めていきたい。

ウトロ海域における守るべき遺産価値には、海鳥以外にも魚類や海獣類などがあり、加えてヒグマなどの陸上哺乳類や断崖などの海から見た景観などが考えられる。

その中でも国際的に希少で、国内･道内で観察できる場所が限られているケイマフリを本部会の重要対象種として位置づけ、保全と利用のwin-winの関係を目指したい。

7

ウトロ海域部会 平成24年度計画

環境省　3カ年事業の3年目（最終年）

◆平成24年度　第1回部会（6月）

過去2年の評価と協働事業の確認

→ WIN-WINできる活動を進める

→ 活動を支援するツールを増やす（HP,動画,広報）

◆平成24年度　第2回部会（10月を予定）

3カ年の総括

→ 今後継続的にWIN-WINできる活動を整理する。

8

過去2年間の成果

◆ケイマフリデコイ

利用と保全の両立のためのツール

→ 広報ツール（手に触れられる、近くで見れる）

→ 繁殖に配慮した航路設定の目印への活用

◆アンケート

マーケティングリサーチのツール

→ 利用形態別の特徴、利用者層別の特徴…

9

過去2年間の成果＋α

◆観光船からの海鳥調査

海鳥の確認情報を多く得られる

→ 多くの目で見ることが保全につながる

→ 観光客への還元につながる

◆広報コンテンツの作成

HP作成中であるが…

→ 地域全体で守り活用する姿をPR･発信

→ 参加･共有･拡散のツールへ

10

ウトロ海域部会　年次計画

	平成22年度	平成23年度	平成24年度
自然観光資源の価値の向上			
ケイマフリ繁殖地の再生実験	デコイ製作	デコイ設置、 誘引効果モニタリング	デコイ設置、 ~~誘引効果モニタリング~~
海鳥の生態調査 ・ウトロ～岬の分布 ・生息状況、採食状況	生態調査 ・本調査 ・モニタリング	生態調査 ・観光船による観察 ・モニタリング	生態調査 ・観光船による観察（参加増） ・モニタリング
利用機会の拡大			
利用動向調査	予備調査（アンケート）	本格調査（アンケート）	継続調査（アンケート）
魅力的な航路開発	―	より好ましい利用形態の検討	~~より好ましい利用形態の検討~~ → 変更 ・繁殖地の説明やケイマフリデコイを使った解説。 ・デコイを使ったルート配慮
各種海域利用者間の調整			
漁業、遊漁、シーカヤック等の状況把握	関係者ヒアリング 課題整理	実態調査	必要に応じて随時に調整
広報普及啓発			
海域利用の楽しみ方のPR	小冊子作成	デコイを使ったＰＲ Webによる情報提供 ミニ出前講座の開催	観察会開催等 Webコンテンツの充実 ケイマフリ展示支援（宿泊関係）

11

2.本年度事業実施計画

(1) ウトロ海域海鳥調査計画
～今年度の海鳥調査計画および、デコイ設置状況について報告

(2) 利用者動向調査（アンケート調査）
～実施計画の説明

(3) 海域状況（海鳥）観察の実施
～実施依頼および観察技術支援（洋上説明会、意見交換会等）の実施計画

(4) 広報用コンテンツの作成
・ホームページの公開について
・動画コンテンツ制作について
・広報用素材（映像・写真等）の提供のお願いについて

(5) その他
・ケイマフリデコイを使用した広報PRについて
・海鳥出前講座の開催

12

(1)ウトロ海域海鳥調査計画

- 海鳥の海上センサス調査

  5月上旬～10月上旬（オーロラからの観察）

- 海鳥の生息状況調査

  (1)ケイマフリ生息状況調査(5月～8月)
  (2)ケイマフリの営巣分布調査(6月～8月)
  (3)海鳥の繁殖分布状況調査(6月～8月)

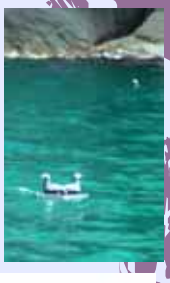
- ケイマフリの採食･食性調査

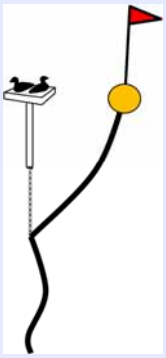
  小型水中ロボットカメラによる撮影
  6月中下旬

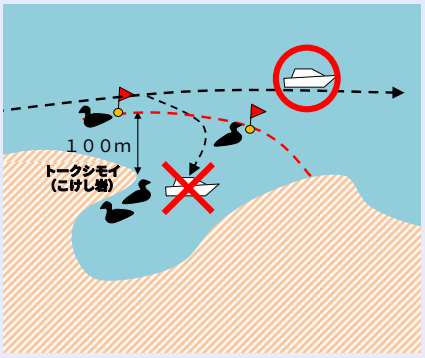
13

ケイマフリ設置状況

- 5月2日　環境省（野川、高橋）、ウトロ漁協（山本総務課長）、知床海鳥研究会（福田代表）の4名で設置。
- 設置の数日後の大時化によりデコイが被害。5月7日には既に200mほど流され、その後消失。
- 現在、再設置を計画中。







14

(2) 利用者動向アンケート調査

◆ 観光船・シーカヤック利用者を対象

- 配布時期　前期（海鳥繁殖期）　：6月～7月
  後期（海鳥非繁殖期）：8月～9月
- 観光船窓口配布と直接配布　（昨年同様）
- 配布数量は昨年の半数。全期間で2000枚

  各月の配布数　＝ 500
  （大型船=200,小型船=200,シーカヤック=100）
- アンケート設問内容は昨年と同様

今年度配布アンケート
（アンケート票・返信用封筒・絵ハガキ）

15

(3) 海域状況（海鳥）観察の実施

◆ 概要

昨年に引き続き、運行時に見られる海鳥の観察記録を付けてもらい海鳥の生息状況の変化や、デコイの設置による効果の観察を実施。海鳥生息環境の監視効果と海鳥への関心度の向上や、観察データの蓄積により、観光サービスの向上効果にも期待。（今年は是非小型観光船の皆様にも！）

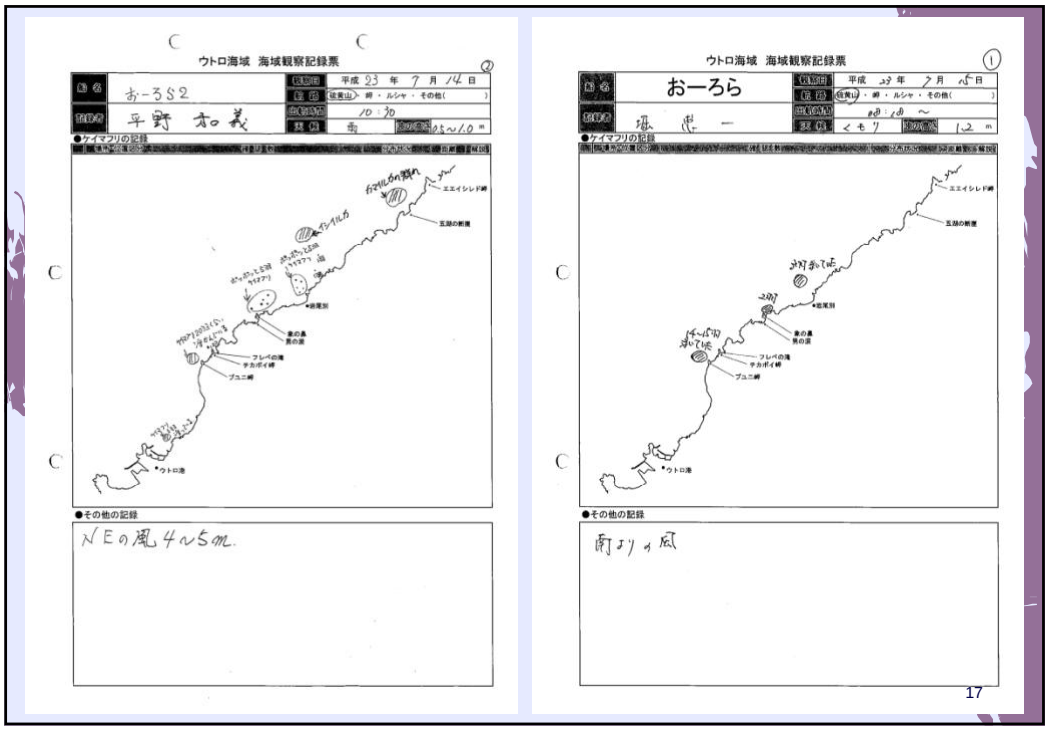
さらに今年度は海鳥の観察技術や、ガイドにおける解説のポイント、使える海鳥ガイドの「ネタ話」などの提供機会を企画。

昨年の海域観察実施状況
（おーろら号）

大型観光船：海鳥専門家による船員の皆さんのための「洋上観察会」

小型観光船：洋上観察会　‥‥ハイシーズンは無理？
→「ケイマフリ保護懇談会」などの企画で対応？
観光用デコイ設置箇所の検討
ケイマフリ個体への「配慮方法」の検討と実践
保護ＰＲ方法の新しいアイディア考案

16



17

(4) 広報用コンテンツの作成1

- ホームページの公開について

ホームページ公開開始。

dc.shiretoko-whc.com/keimafuri(案)

今後も徐々に内容を充実させます。

・関係者が参加できるような発信の仕組みも検討。

18

(4)広報用コンテンツの作成2

◆「ケイマフリがよく解る」動画コンテンツを制作

・1分～3分の動画を7～8本程度作成。YouTubeから公開予定。

テーマタイトル(案)

1. ケイマフリとは、ケイマフリの希少性について
2. ケイマフリの生態的特徴　飛べるし、泳げるし、潜れる鳥
3. ケイマフリの営巣　崖に営巣するケイマフリ
4. ケイマフリの観察の仕方
5. ケイマフリを守る取組1(観光船事業者によるルール)
6. ケイマフリを守る取組2(ケイマフリを調査する活動)
7. ケイマフリを守る取組3(デコイの設置)

19

動画コンテンツ制作手順

◆作成フロー

20

(4)広報用コンテンツの作成3

- 広報用素材（映像・写真等）の提供のお願いについて

・海で出会った野生動物や美しい風景の映像ムービー・写真など

「是非御協力をお願い致します。」

また今年度動画コンテンツ作成に際し撮影作業を行います。観光船で楽しむ観光客や、楽しいガイドの一部分などを動画作成用に撮影させてください。PRになるような映像も盛り込みたいと思います。

21

(5)その他

- ケイマフリデコイを使用した広報PRについて

・宿泊事業者向けにも展示支援を行います。
（ポスター、パンフレット、展示用デコイ）　「どこでもケイマフリ」PR企画

- 海鳥出前講座の開催

・地域の方々向けにも観察会のような企画を。。。
・「海鳥出前講座」　洋上出前講座も？

- ぜひ皆様のアイディアを！

御意見ご要望

22

観光船事業者による ケイマフリデコイを使用した海鳥のPR活動（H23）

●概要

環境省保有のケイマフリデコイを、ケイマフリをはじめとする海鳥の生息海域保全のＰＲ活動のシンボルとして観光船事業者に展示用として貸し出しを行った。デコイは観光船カウンターや待合室、観光船内などでも展示利用され、また知床海鳥研究会（福田氏）からは展示資料としてケイマフリの解説ポスターが提供された。

ケイマフリデコイ（水上設置型）

ケイマフリデコイ（陸上設置型）

ケイマフリポスター（知床海鳥研究会提供）

23

「海鳥ミニ出前講座」の開催（H23）

●概要

「海鳥ミニ出前講座」は、これまで海域関係者を主な対象とし開催してきましたが、平成24年1月にはウトロの宿泊施設の皆様を対象とした開催も企画されました。を致しました。ケイマフリをはじめとする海鳥の生息状況や、観光船事業者によって行われたデコイを使ったＰＲ展示や、アンケート調査などの取り組み事例を紹介させていただきました。当日は発表者として小型船観光協議会事務局　神尾　氏　の御協力も頂きました。

宿泊事業者向け「海鳥ミニ出前講座」の開催　（平成２４年1月19日　漁村センター）

24

閉会
大変お疲れ様でした。
今後とも皆様の御協力よろしくお願い致します。
25